



「象山記念館 展示リスト」

平成30年3月28日（水）～平成30年6月24日（日）

佐久間象山筆
【孔子図賛】

旧館展示室

資料名	作者	年代	指定等	数量	所蔵他
1 佐久間神溪詩文	佐久間神溪			1巻	近山家旧蔵
2 皇国之名華				1点	
3 白馬歌之図	佐久間象山			1点	
4 佐久間象山所用 陣羽織				1点	
5 象山所用のバックル				1点	象山神社寄託
6 幕府よりの罪文		嘉永7年(1854)9月18日		1点	近山家旧蔵
7 象山筆 吉田松陰辞世の詩				1点	近山家旧蔵
8 横浜開港寄図	(佐久間象山写)			1巻	近山家旧蔵
9 吉田矩方像				1幅	摺物
10 松下村塾記		安政3年(1856)9月4日		1幅	摺物
11 水盛器(測量用水準器)		弘化3年(1846)		1点	
12 水盛器の台(脚)		(弘化3年・1846)		1点	
13 道程測量車				1点	
14 電気治療機		文久2年(1862)		1点	
15 地震予知器		安政5年(1858)		1点	
16 乳鉢				1点	
17 蒸留器				1点	松代小学校
18 カメラ(留影鏡)模型				一式	
19 大成京細見絵図				1点	
20 佐久間修理荷物札		(元治元年・1864)		1点	
21 佐久間象山書簡		元治元年(1864)6月29日		1点	象山神社寄託
22 真田幸教和歌短冊		(元治元年・1864)		1点	
23 象山神社設立趣旨書				1冊	
24 象山神社起工式の写真		昭和11年(1936)5月		5枚	
25 佐久間象山先生殉難白牛祭記念絵巻書		昭和39年(1964)		8枚	
26 象山神社境内図		昭和10年(1935)		1点	象山神社寄託
27 象山先生像	寺瀬黙山			1点	
28 指示型電信機(模型)				1点	

真田宝物館では、

はん－真田家の花押と印章－ 開催中！

平成30年6月24日（日）まで

新館展示室

資料名	作者	年代	指定等	数量	所蔵他
29 大筆(佐久間象山所用)	佐久間象山	不明		1本	象山神社寄託
30 桜賦(レプリカ)	佐久間象山	(万延元年・1860)		1幅	象山神社寄託
31 水墨山水画(レプリカ)	佐久間象山	(安政4年・1857)		1幅	象山神社寄託
32 七言絶句(江城五月)	佐久間象山	天保4～5年(1833～34)		1幅	坂本氏旧蔵3 宮本仲コレクション
33 七言絶句(青峯出没白雲)	佐久間象山	天保9～10年(1838～39)		1幅	坂本氏旧蔵8 宮本仲コレクション
34 五言律詩(陋巷寒溪側)	佐久間象山	天保14年(1843)		1幅	坂本氏旧蔵14 宮本仲コレクション
35 跋顔魯公争坐位帖	佐久間象山	弘化5年(1848)		1幅	坂本氏旧蔵19 宮本仲コレクション
36 古鏃斗	佐久間象山	万延元年(1860)		1幅	坂本氏旧蔵39 宮本仲コレクション
37 勸学歌並短歌	佐久間象山			1幅	坂本氏旧蔵65 宮本仲コレクション
38 象山記	佐久間象山	嘉永7年(1854)		対幅	坂本氏旧蔵27 宮本仲コレクション
39 桜賦(恩田家旧蔵)	佐久間象山	(万延元年・1860)		1幅	
40 山水図	佐久間象山	安政2年(1855)		1幅	坂本氏旧蔵76 宮本仲コレクション
41 望遠鏡中望月歌	佐久間象山			1幅	坂本氏旧蔵46 宮本仲コレクション
42 佐久間象山先生顕彰碑(拓本)		明治35年(1902)		1幅	松代小学校
43 花台	山崎治郎	明治30年(1897)3月		1台	
44 孔子図賛	佐久間象山			1幅	坂本氏旧蔵79 宮本仲コレクション
45 東洋泰西学説	佐久間象山			1幅	
46 象山書簡(象山書院規則草稿)	佐久間象山			1巻	坂本氏旧蔵97 宮本仲コレクション
47 佐久間象山印章	佐久間象山所用			5点	近山家旧蔵
48 唐墨(蔵煙 書素功防古)	佐久間象山所用			1点	近山家旧蔵
49 硯	佐久間象山所用			5面	象山神社寄託

2017年5月19日、古美術蒐集家である坂本五郎氏より、明治時代の医師であり、佐久間象山研究家としても知られる宮本仲が収集した「佐久間象山遺墨コレクション」が一括寄贈されました。
坂本氏は、このコレクション蒐集について次のように述べられています。

私は、戦後、東洋古美術を中心にさまざまな美術品に出会った。其の長い道程の中、不図、信州の出自、宮本仲翁が終生かけたコレクション「佐久間象山の書」の一群を伝得する幸運に恵まれた。佐久間象山の偉大さは、十分心得ていた。同時に、これら遺墨が象山の人と成りを投影する貴重な存在であることを何より尊んだ。さらに、翁生前に手許を離れた遺墨に、一再ならず巡り会った。これまた、翁の遺志に想いを馳せ、逃すことなく、順次、収蔵に加えていた。これらを図版で掲出し、すべてに釈文を付した本にまとめておけば、今後の佐久間象山研究の基本文献になること必定、と。この様な思いを胸に秘めながら、このコレクションを大切に持ち続けた。

『新修 佐久間象山遺墨集』より

ここに、坂本氏のご芳志に添い、広くコレクションを公開するとともに、永く保存し、活用させていただきます。

※真田宝物館でも、坂本氏より寄贈いただいた象山遺墨コレクションの一部を展示しています。